

カンボジアに病院

AMDA

来月開設 地雷被災者らに給食も

子供たちを指導するカンボジアのAMDA
デイケアセンターのスタッフ（1月20日）



AMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）は六月、カンボジアの首都プノンペンに「AMDAカンボジアホスピタル」を開設、現地支部の医師らが運営する。

AMDAは一九九二年二月からこれまでに同国へ十一人を派遣。子供の検診や公衆衛生指導を行うデイケアセンター運営や巡回診療、紛争地での精神医療支援などを行ってきたが、現地スタッフが充実してきたため、同支部代表のシン・リテイ医師ら、同国人による病院運営に切り替える。

施設は既存の建物を賃貸、地雷の被災者や経済的に困難な人を対象に、診察や公衆衛生教育、栄養給食の提供などを行う。

来年三月までの試行で、施設維持費や医療器具などの備品購入、スタッフ十一人の人件費など六百六十万が必要で、うち五百万円を、三十日、岡山市の蜂谷工業が寄付。

AMDA支部の病院としては、バンクラデシユ、ネパールに次いで三か所目。